

報道関係各位

2025年5月20日

**クラダシ、2025年度大学共同研究プログラム
支援先の応募期間を6月8日までに延長
～社会課題解決に資する大学・大学院の研究活動を支援～**

ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」を運営する株式会社クラダシ(本社:東京都品川区、代表取締役社長CEO:河村晃平、以下「クラダシ」)は、ソーシャルグッドな世界の実現を目指し、クラダシ基金を活用して実施する大学共同研究プログラムにおける支援先の募集について、募集期限を**2025年6月8日(日)**まで延長することになりましたので、お知らせいたします。

お申込みフォーム: <https://forms.gle/zjkS3NptnJmvjNtQ6>



クラダシは、ミッションを「ソーシャルグッドカンパニーでありつづける」、ビジョンを「日本で最もフードロス削減する会社」と掲げ、持続的に社会課題の解決に取り組むビジネスを展開しています。「ソーシャルグッドな世界の実現」に資する取り組みとして、今後の社会を創る次世代に向けた教育は重要だと位置づけており、自ら社会貢献活動を行うために創設したクラダシ基金(※1)を活用して、SDGs特別講座をはじめとしたさまざまな取り組みを行ってまいりました。

2024年度には、教育分野への支援や取り組みを強化することを目的に、初めて大学および大学院のゼミや研究室への研究支援を開始し、茨城大学・石島恵美子研究室と法政大学・土肥将敦研究室の2つの研究室と共同研究を実施しました。今後の教育分野における支援強化と取り組み推進の基盤を構築するとともに、学生との交流を通じて未来のソーシャルアントレプレナー育成に大きく貢献しました。(※2)

※1クラダシ基金とは:

クラダシ自らが社会貢献活動を行うために創設した基金で、「Kuradashi」における支援先の1つです。地方創生事業・フードバンク支援事業・教育事業・食のサステナビリティ研究会の社会貢献活動に充てられています。

※2 参照:

クラダシ、茨城大・法政大との共同研究の最終報告会を実施。成果を受け、新たに2025年度のゼミ・研究支援先を募集!～未来のソーシャルアントレプレナーの育成を目指す～

<https://corp.kuradashi.jp/news/2025-04-25/>

■2025年 共同研究・募集期限延長について

クラダシは、2025年度の共同研究プログラム実施に向け、大学共同研究プログラムへの参加を希望し、支援を求めるゼミや研究室を現在募集しています。

このたび、より多くのゼミや研究室からの応募を受け入れるために、支援先の募集期限を当初予定した5月18日(日)から6月8日(日)まで延長いたします。共同研究として選ばれたゼミ・研究室には、研究費用の支援に加えて、クラダシが有するネットワークやリソースへのアクセスが提供されます。

より多くの大学および大学院のゼミ・研究室からのご応募をお待ちしております。

【本件に関するお問い合わせ】
広報担当: 齋藤 pr@kuradashi.jp

【募集概要】

- ・募集期間: 6月8日(日) 23:59まで
- ・募集フォーム: <https://forms.gle/zjkS3NptnJmvjNtQ6>

【研究支援内容】

- ・研究費の助成(寄付): 1,500,000円(3団体総額)
※共同研究先は最大3団体を予定
※1団体あたり上限は設定しておりません。
- ・クラダシのノウハウ、ネットワーク、データ提供など
- ・対象期間: 採択決定から2026年3月末まで

【条件】

- ・研究テーマがクラダシのマテリアリティの1つまたは複数に即していること
- ・研究テーマ例:
ソーシャルグッドな世界の実現: NPOの資金調達、ソーシャルインパクト計測と開示
フードロス削減と環境への貢献: フードロス削減、廃棄物リサイクル
おいしい食へのアクセスの向上: 子ども食堂、スマート農業 など
※上記はあくまで例であり、上記のテーマに限りません。
- ・ゼミ・研究室名での応募であり、研究実施の最終責任者が指導教官であること
- ・寄付金に対して、領収書を発行すること
- ・応募時に資金用途の記載が可能であること、また、何にいくら使用したかの報告を実施すること
- ・10月に中間報告会、翌2月に最終報告会を実施すること(クラダシオフィス)
- ・11月に中間報告書、翌3月に最終報告書を提出すること

■クラダシのマテリアリティ

クラダシは、持続可能な社会の実現と経営を目指し、5つのマテリアリティを特定しています。(※4)

- ①ソーシャルグッドな世界の実現
- ②フードロス削減・環境への貢献
- ③おいしい食へのアクセスの向上
- ④企業と人が共に成長できる場所
- ⑤コーポレートガバナンスの強化

テーマ	取り組みの内容・説明	KPI/指標_関連テーマNo.	関連SDGs
①ソーシャルグッドな世界の実現	・Kuradashiを通じた、誰もが気軽に楽しく社会貢献に参加できる仕組みの価値向上 ・経済性の成り立つソーシャルビジネス・モデルの確立 ・社会貢献活動団体への支援による社会インパクトの最大化	・フードロス削減量_①②③ ・クラダシ基金の活動_①③ ・ユーザー数_① ・出品企業数_①③ ・経済効果_①	
②フードロス削減と環境への貢献	・フードロスの削減と温室効果排出の削減効果の最大化 ・事業を通じた環境負荷の低減、気候変動への対応 (Scope3の算出)	・支援金額/支援先活動_① ・フードロス削減量_①②③ ・CO2削減量_② ・CO2排出量/エネルギー使用量_②	
③おいしい食へのアクセスの向上	・Kuradashiを通じたフードロスの削減 ・日本の食に携わる一次産業の促進 ・フードバンク/子ども食堂への支援	・クラダシチャレンジ実績_③ ・フードバンク支援実績_③ ・食のサステナビリティ研究会_③	
④企業と人が共に成長できる場所	・社会の変化を捉え、多様な人材が活躍し続けられる環境づくり: DE&I・Well-beingの実現 ・ソーシャルグッドな事業をドライブしていく人材が成長できる環境づくりと、それによってクラダシも成長し、社会と従業員に還元できるサイクルの構築: 人材育成・登用	・各役職における女性比率 ・平均勤続年数 ・育休取得率	
⑤コーポレートガバナンスの強化	・情報セキュリティ ・食の安全とサプライヤー管理 ・コンプライアンスの遵守	・リスク管理体制	

※4 サステナビリティレポート: <https://speakerdeck.com/kuradashi/sustainability-report>

【本件に関するお問い合わせ】
広報担当: 齋藤 pr@kuradashi.jp

クラダシは、本共同研究プログラムを通じて、社会課題の解決につながる研究を加速させ、未来のソーシャルアントレプレナーの育成を目指してまいります。

■楽しいお買い物で、みんなトクするソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」とは
Kuradashiは、楽しいお買い物で、みんなトクするソーシャルグッドマーケットです。
フードロス削減を目指し、まだ食べられるにもかかわらず捨てられてしまう可能性のある食品などを、おトクに販売しています。さらに、売り上げの一部を環境保護・災害支援などに取り組むさまざまな社会貢献団体への寄付やクラダシ基金として活用し、SDGs17の目標を横断して支援しています。楽しくておトクなお買い物が、社会に良いことにつながる。そんな、全く新しいソーシャルグッドマーケットを創出しています。

URL: <https://www.kuradashi.jp/>

■株式会社クラダシについて

代表者氏名: 河村晃平

設立: 2014年7月

本社所在地: 〒141-0021 東京都品川区上大崎3丁目2-1 目黒センタービル 5F

URL: <https://corp.kuradashi.jp/>

【サービス紹介】

- ・ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」: <https://www.kuradashi.jp/>
- ・クラダシが自社で運営する「クラダシ基金」: <https://www.kuradashi.jp/fund>
- ・冷凍宅配弁当「Dr.つるかめキッチン」: <https://tsurukame-kitchen.com/>

【店舗一覧】

- ・Kuradashi店舗一覧: <https://kuradashi.jp/pages/stores>

【クラダシのサステナビリティ】

- ・サステナビリティサイト: <https://corp.kuradashi.jp/sustainability/>
- ・サステナビリティレポート: <https://speakerdeck.com/kuradashi/sustainability-report>

【2025年3月末時点の主な累計実績】

- ・フードロス削減量: 28,365トン
- ・経済効果: 138億0,061万円
- ・CO2削減量: 75,195t-CO2
- ・支援総額: 163,012,869円

「Kuradashi」、「ソーシャルグッドマーケット」、「1.5次流通」、「もったいないを価値へ」は株式会社クラダシの登録商標です。